

「着物で歴史遺跡を歩こう会」を全国各地で展開しよう

1、はじめに

世界に誇る日本人の伝統文化、民族衣装である和服は、明治以来、西洋化の波のなかで衰退してきた。現在では、ごく一部の和服愛好者や、伝統文化芸能を愛する人たちによって、かろうじて生き伸びている。日本の素晴らしい伝統文化や和服の魅力を幅広く、多くの方々に体験してもらうとともに、各地域の歴史遺産をPRし、観光客の増加をめざすために、「着物で歴史遺跡を歩こう会」を立ち上げることを提案したい。

2、「着物で出水武家屋敷を歩こう会」の試み

私は、能・謡曲に15年前に出会って以来、着物の魅力に取りつかれ、広島県福山市で5年間、「着物で日本文化を語る会」をやり、現在は鹿児島県出水市で「着物で出水武家屋敷を歩こう会」を今年の春立ち上げ、好評を得ている。全国各地には、着物がよく似合う歴史遺産が、多数残っている。そこを、着物で散策することにより、その価値を高め、対外的にPRすることが可能である。

京都や山口の萩をはじめ、「着物のレンタル」による散策はたくさん存在しているが、私たちは、高価な着物がタンスのなかに眠っている現状に鑑み、着物のリサイクル業者と組んで、レンタルではなく「格安の値段でお持ち帰りいただき、日常的に来ていただく」というイベントを考え、実施してきた。予想以上の好評を得ているので、全国各地でも比較的容易に実現できるモデルとして、提案したい。

3．実施体制

実施はそれほど難しくはない。まず、実行委員会を立ち上げ、「着物のリサイクル業者」を発見し、着付けのできるボランティアを10数名確保し、着付けのできる部屋（家）を歴史遺産の近くに確保できれば、すぐにでも実現できる。

あとは集客である。行政や民間、マスコミ等の協力を得て、チラシを作成し、集客する。話題性もあり、潜在的和服愛好者は意外に多い。出水では、マスコミや市観光課、観光協会、商工会議所、民間の旅行会社等が注目してくれて、「着地体験型」の旅行商品として売り出してくれた。また、出水市の観光課が注目し、農家民泊とからめて、海外向けの修学旅行勧誘のチラシも作成された。定期的開催とともに、今後、多くの発注が見込まれる。詳細な実行プランとして、第1回「着物で出水武家屋敷を歩こう会」のチラシを添付する。

第1回着物で武家屋敷を歩こう会

九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業10周年記念イベントと同時開催

出水の江戸時代の雰囲気を残す武家屋敷群を着物で歩き、
家庭で眠っていた着物たちと帯をゲットしませんか！

●日時：平成26年3月15日(土)【小雨決行】

9：00～11：00受付・着付け(会場・吉田美樹宅)

11：00～12：00武家屋敷散策

12：00～13：00着物の着替え・終了(会場・吉田美樹宅)

車でこられる方は、出水小学校前の広場を駐車場としてご利用してください。

「受付・着付け」会場(5分程度)までご案内いたします。当日は、着物をたくさん準備していますが、先着順に着物と帯を選んでもらいます。

◎主催：着物で武家屋敷を歩こう会実行委員会(会長 梶原宣俊)

◎参加費：5,000円/1人(着付け料を含む。履物、足袋、長襦袢はお貸しします。)

着た着物と帯は自分のものになります。

※参加費入金で申し込み完了といたします。申込後のキャンセル料2,000円

◎振込先：郵便局【店名】七八八(読み ナハチハチ)【店番】788 口座番号 2789603

「着物で武家屋敷を歩こう会」 事務局長 吉田美樹

◎申込締切：平成26年3月5日(水曜日)ただし先着40名で締め切り

◎申込要領：下記“参加申込書”に必要事項をご記入の上、[郵送]、[FAX]にて参加費と一緒に申し込みください。



鹿児島大学留学生

実行委員：鹿児島まちの駅連絡協議会北薩ブロック・NPO法人さわやか出水女性の集い「さわやか出水来て喜てサロン」・出水異文化交流の会

後援：出水市・出水商工会議所・鶴の町商工会・出水市観光協会・出水街なみ保存会・出水観光牛車会

.....切り取り線.....

着物で武家屋敷を歩こう会 参加申込書

申込先：むらさき堂(代表 堂脇より子 鹿児島まちの駅会員)

| ふりがな 氏名 | 性別 | 着物のサイズ (又は、身長等) | 郵便 番号 | 住所 | TEL |
|------------|----|--------------------|----------|----|-----|
| | | S・M・L () | | | |
| | | S・M・L () | | | |